

参考2

交流館事業等事例集

事例集について

- 事例集は、令和元年～令和5年の間に交流館で営まれた事業等について各館で振り返りを行い、特に、「イチ押し」を厳選したものです。
- 選定にあたっては、平成30年の条例改正のポイントであった
「①多様な主体の自主的な活動の促進(営利利用緩和)」
「②地域特性を生かした運営(独自ルールやコーディネート強化)」
を踏まえピックアップしました。

目次

1 事業事例(通常期)

2 事業事例(コロナ期)

3 市民活動の支援・コーディネート事例

4 地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例

事例一覧

事例 パターン	逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稲武	梅坪台	小原	上郷	猿投北	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富	松平	美里	竜神	若園	若林	
通常期		○		○			○	○		○	○		○		○			○			○	○			○	○	○		
コロナ期	○		○		○	○			○			○		○		○	○		○	○				○	○			○	
活動支援・ コーディネート		○	○		○					○	○			○	○		○		○			○	○	○				○	○
地域発	○			○		○	○	○	○				○	○		○		○		○	○					○	○		

1 事業事例：通常期

●旭交流館【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	お寿司で学ぶSDGs
実施年月	令和5年8月24日
主催者のねらい	食品ロスの現状を知り、資源の大切さを学ぶ
講師・関わる人の情報	くら寿司、青少年育成部会
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・共催相手と連携調整がスムーズにできたか。 ・こどもたちが協力して課題解決に取り組めたか。
参加者数／定員数	36人／30人
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業が持つ専門的な知識やノウハウを活用して、楽しくこどもたちの理解を深めることができた。 ・学童の協力を得て旭以外の4校から参加があり交流ができ、夏休みの良い思い出になったと思う。



●足助交流館【事業事例:通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	The 禅
実施年月	令和5年10月
主催者のねらい	地域の魅力を発信し、再発見する。
講師・関わる人の情報	香積寺住職、地域講師
評価の視点	香積寺や地域の歴史を聞き、知識を深めたか。座禅体験を通し、リフレッシュできたか。精進料理を通じ、郷土の食に関心を持ったか。
参加者数／定員数	12人／12人
振り返り	座禅体験により香積寺が身近に感じたようだ。地元の歴史や郷土料理を含めた精進料理の話を読み、興味を示した。講師にとっても満足いく講座となった。



●稲武交流館【事業事例:通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	子育て支援講座「だっころん」
実施年月	令和4年4月～11月
主催者のねらい	子育て支援、地域の魅力の共有、発信
講師・関わる人の情報	すくすく広場、稲武プレーパーク、Coicoいなぶ、地域講師
評価の視点	子育て世代の交流 地域の子育て活動団体と地域の方をつなぐ
参加者数／定員数	5人／10人
振り返り	地域の子育て活動団体や地域内・近隣の地域講師と参加者をつなぐことができた。多様な団体とかかわりを持つことができた。



●梅坪台交流館【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	交流サロン「プチ☆ひなたぼっこ」
実施年月	令和元年5月～2年3月(10回)
主催者のねらい	魅力あるメニューや学びの機会を提供し、住民の交流や活躍の促進を図る。
講師・関わる人の情報	地域講師、地域保健課、ヘルサポ、包括、民間事業者、福祉団体
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の発掘や地域住民の主体的な活動につながったか ・事業の認知度を高め、市民活躍の場を広げることができたか
参加者数／定員数	延べ328人 ※定員30人／回
振り返り	<p>地域講師によるものづくり以外に、新たに健康コーナーやヤクルトなど地元事業者の参画、福祉施設のパンや焼き菓子の販売、地元産の野菜販売などが加わり、新しい「ご縁」が生まれ、多世代交流につながった。ただ住民の主体的な運営への移行はまだ難しい。※R5うめつぼ広場に受け継がれる。</p>



●上郷交流館【事業事例:通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

地域事業名	WE LOVE上郷「上郷まちめぐり」
実施年月	令和4年11月
主催者のねらい	地域の歴史や魅力の共有と発信。多世代交流。
講師・関わる人の情報	地域のお寺:隣松寺住職、地域住民ガイド、地域の音楽(篠笛)グループ、地域バス運行事業者
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史に興味、関心をもつことができたか。 ・地域の住民・グループの活動機会の提供になったか。
参加者数/定員数	27/20
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住みながらも知らずにいた歴史等につれることができ、新たな発見があったとのこと。 ・地域バス事業者と連携できた。 ・お寺での篠笛演奏が新鮮で好評であった。



● 猿投北交流館 【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	猿投北ハーブフェスタ
実施年月	令和4年6月12日
主催者のねらい	交流館の特徴である「ハーブ」をツールとした、来場者、出展者の交流
講師・関わる人の情報	猿投北ハーブ園芸ボランティア部グループ「ハニーサックル」他
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流の場、出展者の活躍の場となったか ・ハニーサックルと共働して企画運営できたか
参加者数／定員数	・205/100
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・交流館のハーブの魅力を地域内外の参加者に伝えることができた。 ・クッキングやクラフトなどのブースを出展した新しい人材の発掘や、ハーブ好きな来場者同士の交流の機会を持つことができた。 ・ハニーサックルのメンバーは主体的に取り組むことで充実感を得られ、その後の活動につながったと思う。



●下山交流館 【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	下山地区放課後児童クラブ 合同お楽しみ会
実施年月	令和5年8月3日
主催者のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の担い手作り ・若者(中学生～29歳)と地域のつながり ・企業との連携
講師・関わる人の情報	地域講師、しもやまラリーイベント実行委員会、自主グループ(下山囲碁・将棋クラブ)、トヨタ自動車、イラストレーター、下山支所、豊田市スポーツ振興課、中学生ボランティア、下山コミュニティ会議青少年部会、
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・交流館を知ってもらうことができたか ・他地区の小学生や中学生と交流を図ることができたか ・プロアスリートと交流することができたか ・パラスポーツに理解を深めることができたか
参加者数／定員数	67/80
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体とのスケジュール等の打ち合わせが大変だったが、職員総出で対応し、交流館のコーディネート力を発揮することができた。 ・WRCのコースとなっている下山地区の子どもたちにラリーについての講座をすることによって、地元のラリーファンを増やす一助となった。 ・知識、経験技術を持った多世代と交流することによって、オンリーワンの体験、未来を担う子どもたちの良い学びの場となった。



●末野原交流館 【事業事例:通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	すえのはら縁joyサロン
実施年月	令和4年5月～2月
主催者のねらい	市民活動の支援、地域の担い手づくり、多世代交流、健康づくり
講師・関わる人の情報	ヘルスサポートリーダー、包丁とぎボランティア、KDS(高年大学末野原拠点)、みなみ福寿園、中部電力他
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士の交流の機会となったか ・参加団体と共働できたか
参加者数／定員数	延べ779人／各60人×9回
振り返り	既存講座に事業者による健康イベントや福祉施設の物販等を組み入れ実施した。条例改正により、多彩なイベントが展開できるようになり、新規利用者の獲得及び新たな地域交流の場を提供することができた。



●藤岡交流館【事業事例:通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	ツール・ド・フジオカ ウォーキング
実施年月	令和4年10月～令和5年2月
主催者のねらい	市民活動の支援、健康づくり、地域の魅力の共有・発信
講師・関わる人の情報	地域講師、迫次創会、下川口区長、木瀬四季の里山づくり実行委員会、石畳地区地域づくり協議会、加茂丘高校3年生
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォーキングを学び、実践できたか。 ・藤岡地区の魅力に気づく機会となったか。 ・参加者同士の交流の機会となったか。
参加者数／定員数	54/75
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は興味津々に聞き入る様子がかげえ、藤岡の魅力に触れることができた。 ・受講者は、「興味があるが一人ではやりづらい」「歩くきっかけが欲しかった」など様々な動機があったが、講座の中で親しく声を掛け合い交流を楽しんでいた。 ・地元の方や区長、わくわく事業の方、高校生から地域の話をしていただけるように依頼し、その時間を休憩時間に充てるようにタイムスケジュールを組んだ。受講者にも地域の方からの地域の紹介や交流タイムが好評だった。



●保見交流館【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	クリスマスマーケット
実施年月	・令和5年12月
主催者のねらい	・多文化体験の場を提供し、外国籍の人との相互理解の促進を図る。
講師・関わる人の情報	・地域住民ほか
評価の視点	・多文化を理解することができたか。 ・外国籍の人との交流を図ることができたか。
参加者数／定員数	・500人(令和5年度実績)
振り返り	・バザー出展者との片言の外国語による会話の場面やコンサート会場における出演者への多くの声援などがあり、お互いの文化を理解し、交流を図ることができた。



●前林交流館【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	ほっこりマルシェ
実施年月	令和2年12月～(毎年12月開催)
主催者のねらい	地域の交流の場「ほっこりサロン」運営スタッフと共催で地域の方中心の手作り作品や野菜の販売を行う物販マルシェを開催。(令和4年から後援事業)
講師・関わる人の情報	ほっこりサロン運営スタッフ、出店者
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流の場となったか。 ・新たな利用者拡大につながったか。 ・運営スタッフと出店者のやる気につながったか。
参加者数／定員数	116/100(R2)、117/100(R3) 129/100(R4)、117/100(R5)
振り返り	子育て世代、家族、出店者、交流館利用が初めての人など年代を超えた様々な方と繋がりを持つことができ、地域の活力を感じることができた事業となった。



●美里交流館【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	おもちゃで学ぶ☆SDGsナゾトキ教室
実施年月	令和4年8月3日(水)
主催者のねらい	地域の担い手づくり、地域課題への対応、企業との連携、SDGsの取り組み
講師・関わる人の情報	タカラトミー(株)社会活動推進課
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しみながらSDGsについて知ることができたか。 ・オンライン上でも講師と上手く連携できたか。 ・ネット環境を整えて不具合なく開催できたか。
参加者数／定員数	20名/18名
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・条例改正後、営利事業者との事業となり、学校ではできない東京とのオンライン講座ができた。 ・地球温暖化やごみ問題にスポットをあて、おもちゃの製作段階で工夫されていることを学んだり、普段の生活で自分に何ができるか考え、気づきを得る機会となった。カラフルなカードで講師と意思確認をしながらクイズに答え、楽しく環境問題について学ぶことができた。 ・クイズでは子どもたちが発表する場面もあった。スクリーンに映る講師とのやり取りがスムーズに行えるように、現場の進行は職員が行い、補助した。 ・子どもたちが積極的に発表する様子に感心した。「SDGsは一人一人が心掛けることで世界を守ることができることが分かった。」「道にごみが捨てられていてどうにかできないかと思っていた。」など、SDGsに対する関心の高さを知ることができた。



● 竜神交流館 【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	竜神元気フェスタ
実施年月	令和5年12月
主催者のねらい	地域に健康づくりの輪を広げる
講師・関わる人の情報	主催：豊田市健康づくり協議会 協力：P-BASE 後援：竜神交流館
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者の思いを形にすることができたか ・様々な団体の参画を得ることができたか ・地域で健康づくりの輪を広げることができたか
参加者数／定員数	のべ70人／100人
振り返り	<p>「豊田市健康づくり協議会」の代表が竜神地区の住民であり、「健康」をキーワードとした地域住民向けの事業を開催したいという相談を受けた。5年度中に形にするという目標を定め、交流館が中心となって準備を進めた。自主グループ、営利利用団体、地域の事業者等の参画により、身体健康だけでなく趣味・生きがいにつながる事業となった。P-BASEの協力が得られたことで事業者の運営手法を学ぶことができたのも大きかった。</p>



●若園交流館【事業事例：通常期】

① 条例改正後（平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に実施した事業）

事業名	中学生ボラ①養成講座・②実践編
実施年月	①R5.5.14 ②通年
主催者のねらい	地域の担い手づくり 若者と地域のつながり
講師・関わる人の情報	市社会福祉協議会、若園地域学校共働本部、ボラ受入れ地域施設・団体
評価の視点	ボランティアの心構えを学び、ボラ活動に自主的に参加し、多世代交流などを通じて「地元への愛着」を深めることができたか
参加者数／定員数	①50人、②延べ142人 定員定めず
振り返り	中学生からは「積極的にがんばりたい」「初めてのボランティア、友達と協力して活動できた」「自分も無理せず、相手にいやな思いをさせないことが大切だと分かりました」等の感想があり、講座を通してこれからのボランティア活動に向けて、意欲的に考えるきっかけになった。



2 事業事例：コロナ期

●逢妻交流館 【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	ガラス面を活かした展示事業
実施年月	2年11月
主催者のねらい	施設の特徴を活かし新たな利用への気づきを促すとともに建物の魅力を広く内外に発信する
講師・関わる人の情報	—
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス面を活かした新たな利用への気づきを促せたか ・建物の魅力を広く内外に発信できたか
参加者数／定員数	2,628人(ふれあいまつりと連動)
振り返り	ふれあいまつりと連動して行った地域キャラクターのぬり絵イラスト展示は「会場に行かなくても工夫してできる」との気づきにつながった。ガラス面に効果的に展示し、住民に楽しんでもらえた。



●朝日丘交流館 【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	あさひがおか地域探訪 『七州城編』
実施年月	R3年11月28日・12月5日(2回)
主催者のねらい	地域資源を活かし、独自の事業を展開することで地域の活性化を図る
講師・関わる人の情報	七州城城下町まちづくり協議会
評価の視点	あさひがおかの昔を知って現在と未来を考える
参加者数／定員数	約40人(2回)
振り返り	「豊田市文化ゾーン」として複数の歴史的資源が残る地域である為、地域資源を活かし多世代交流の繋がりを強め、世代共生の地域形成が図られた



●井郷交流館 【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	月あかり しーっ！クットコンサート
実施年月	令和3年10月3日
主催者のねらい	利用者拡大と幅広い世代の地域住民が交流する場づくり
講師・関わる人の情報	地域講師(ヴァイオリニスト)
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止を配慮したコンサートの内容構成ができたか。 ・参加者は、地域のアーティストを知り新しい生活様式の中のコンサートを楽しむことができたか
参加者数／定員数	53/50
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での事業開催のため、何をどこまで配慮したら安心して事業に参加してもらえるか、定員は満たされるかの不安があった。今回は、地域の若いアーティストを講師に迎えての開催だったため、地域の方々の関心が高く定員を満たすことができたと思われる。 ・コロナ禍での初の井郷交流館事業のため、いろいろな面で不安と迷いがあった。来館者への勧誘は施設利用の緩和通知後に徐々に始め、当日には消毒済みの表示を添付した。講師と事前に打ち合わせをし、コンサート中マスクを着用しないため、MCを少なくして演奏する曲目を増やした。これについて、アンケート結果が受講生に好評価を得たことがわかり良かった。



●石野交流館 【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	コロナに負けるな(シリーズ)
実施年月	R3.7月～12月(4回)
主催者のねらい	コロナ感染予防の観点でウィズコロナの新しい生活様式に添った時間の過ごし方を提案
講師・関わる人の情報	地域講師 他
評価の視点	コロナ感染予防を重視し、定員を制限して室内で密にならない配慮をした。屋外で実施できるメニューも取り入れ、受講者が安心して参加できるように感染予防対策を徹底して実施した。
参加者数／定員数	57人(4回計)／60人(4回計)
振り返り	コロナ禍の中で多く事業を中止せざるを得ない事態となった。 R2度は殆ど講座を行うことができなかった。 R3度は「おうち時間」を有意義に過ごし、心のリフレッシュに繋がる内容で対策を十分にとって講座を開催した。



●小原交流館【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	すくすく講座「おばらっきー組」
実施年月	令和2年9月～12月
主催者のねらい	市民活動の支援、地域の担い手づくり、子育て支援、地域課題への対応
講師・関わる人の情報	地域講師
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が交流できる場となったか ・母親同士が悩みを相談したり仲間づくりをすることができたか ・親子でのふれあい遊びの手段を学んだか ・地域で活躍する個人の活躍の場となったか
参加者数／定員数	24/32
振り返り	<p>・コロナ禍にあって子どもを持つ世代の孤立が心配され、できる形を探った開催となった。参加者同士の交流という点では難しさがあったが、親子でのふれあいをメインにした内容とし、広い部屋を使って体をダイナミックに動かす経験ができた。</p> <p>・地域講師の起用により、活躍の場・地域の親子への紹介の場となったとともに、親と同世代の講師については、普段相談できる人を知る機会にもなり安心感を持ってもらえた。</p>



●猿投台交流館 【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	お家ご飯を楽しもう
実施年月	令和3年5月25日(火)
主催者のねらい	コロナ禍で外食を控えている 自宅で栄養バランスのよい食事を楽しむ
講師・関わる人の情報	猿投地域消費者グループ
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・食事作りを楽しむことができたか ・栄養バランスのよい食事を知ってもらえたか ・講座を通して参加者が交流できたか
参加者数／定員数	5名/6名
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が大切にしている「出汁を取る健康に良い和食」を皆で学べた ・コロナ禍のため人数を減らし、開催したが、少人数ゆえに和気あいあいとした雰囲気の中、講座が進んだ



●浄水交流館【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	浄水ウオーキングチャレンジ30
実施年月	令和2年、令和3年 9月1日～まごころフェスタまで
主催者のねらい	健康づくり、安全・安心なまちづくり、地域の魅力の共有・発信
講師・関わる人の情報	地区コミュニティ会議福祉健康委員会
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも楽しく参加できたか ・外に出るきっかけになったか ・健康づくりに関心がもてたか
参加者数／定員数	令和2年度 402/300人 令和3年度 205/300人
振り返り	<p>コロナ禍を受けウオーキング大会から、各々が好きな時間、コースをウオーキングしてもらえよう変更して開催した。家族ぐるみで多くの人に参加し、地域を楽しみながら歩くことで外出する機会の増加やストレス発散、地域内の見守りにもつながっており、現在も継続している。</p>



目標達成で景品の花苗をまごころフェスタで引き換えをしている様子

●崇化館交流館【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	地域カルテ事業「崇化館ぶらり」 ～朋華レンジャーと楽しく野鳥観察～
実施年月	令和4年2月27日
主催者のねらい	・野鳥観察を通して地域の人々に地域の魅力の再発見をする。またコロナ禍でも人との交流の大切さを知る
講師・関わる人の情報	・やつ場池ボランティア ・日本野鳥の会職員 (ともに地域住民。面識なし)
評価の視点	・地域講師と地域のやつ場池を守る人々と交流・ コーディネート
参加者数／定員数	27人/30人
振り返り	・コロナ禍に地域カルテ事業と称し地域の「もの・ひと・こと」情報を職員が地域に出て収集した。その中の「やつ場池のボラ活動」と「野鳥の会職員」との出会いからコーディネートを行った。当日は、地域住民にやつ場池にくる渡り鳥の生態について知識や新たな地域の魅力を知りボラ活動の前向きな推進力となった。



●高橋交流館【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	みんなでつくるつながる 高橋のアルバム
実施年月	令和3年9月～(現在も進行中)
主催者のねらい	コロナで講座参加者が減少。来館せずともSNSの活用で講座に参加できる事業を企画。地域の魅力発信をねらいとした。
講師・関わる人の情報	HPボランティア2名(HP更新作業)
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの閲覧増があったか。 ・写真を撮り、投稿する楽しみが持てたか。 ・地域の魅力発見につながったか。
参加者数／定員数	(R3 34/100人、R4 32/100人、R5 66/ 50人)
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・投稿した写真をいつでもふりかえり見ることができ、HPの閲覧数増がみられた。 ・職員が作品をポストカードやカレンダーにして参加者に違う楽しみを感じてもらった。 ・ポストカードは、ふれあいまつりにて配布、カレンダーは、自治区区民会館やJA,とよしんなどにも掲示し、活動の周知を図った。



●藤岡南交流館 【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	ママのココロとカラダが楽になる産後ケア
実施年月	令和3年11月2日、9日、16日、24日
主催者のねらい	市民活動の支援、地域課題への対応、子育て支援
講師・関わる人の情報	地域講師、託児・手伝い
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の悩みや不安を軽減することができたか ・参加者同士の交流を深めることができたか ・講師の活躍の場となったか ・親としての意識や能力の向上、子育てに関する知識を習得することができたか
参加者数／定員数	8/13 組
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で特に不安の多い産後ママに好評であり不安の軽減へとつながった。 ・助産師から毎回違うテーマで講話を聞き、その後の交流会で、テーマについて参加者同士で深く話し合い、情報交換をすることで参加者同士の交流を深められた。 ・講師の活躍の場となり、自信をつける機会となった。 ・子育てに関する新たな知識を得ることで、意識や能力の向上ができ、参加者の満足度は高かった。



●豊南交流館 【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	夏休み 子ども陶芸講座
実施年月	令和3年7月31日、8月31日
主催者のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりの教養や技術の向上 ・ものづくりの楽しさを体験
講師・関わる人の情報	陶芸家講師、講師補助
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土から作品ができるまでの工程を学べたか ・陶芸を楽しむことができたか ・作品の完成で達成感を得たか
参加者数／定員数	36/24
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で中止となる講座がある中、気をつけながら講座を開催した。 ・定員をはるかに上回る74名の申し込みがあり、講師の計らいで作陶日回数を追加し、少しではあるが参加者人数を増やすことができた。



●益富交流館 【事業事例:コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	クリスマスカードを届けよう
実施年月	令和3年12月
主催者のねらい	カード作成を通じて、高齢者や家族が友人と共にクリスマスを楽しむ機会を提供する。
講師・関わる人の情報	地域包括支援センター益富の楽園
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や家族が友人とクリスマスと楽しむ機会を提供できたか。 ・多世代交流の場が持てたか。 ・カード作りを楽しんでもらえたか。 ・地域にある包括支援センターについて、認識してもらえたか。
参加者数／定員数	15名／16名
振り返り	<p>コロナ禍で、海外に居住する子どもに会えないので、クリスマスカードを作成して送るという参加者もいた。離れていても一緒にクリスマスを楽しむ手助けができた。また、コロナは高齢者のリスクが高いことから、身近な相談機関である地域包括支援センターを紹介した。高齢者のコロナへの不安解消の助けとなった。</p>



●松平交流館 【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	松平おうちDE講座 川柳コンテスト
実施年月	令和2年10月1日～10月31日
主催者のねらい	外出自粛中でも参加でき、社会との繋がりを保ち、孤立しない地域を目指す。(コミュニティ会議と共催)
講師・関わる人の情報	川柳講師、コミ健康福祉部会、松平地区7小中高等学校、松平支所
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が楽しむことができたか ・地域の活性化に役立ったか
参加者数／定員数	80人／40人
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校など様々な場で川柳に親しんでもらえた。メール／FAXでの参加も見られ、気軽に参加できた。入選作品を選定し、館報・ロビーで結果発表、参加者に喜ばれた。



●若林交流館 【事業事例：コロナ期】

② コロナ期（令和2年、3年に実施した事業）

事業名	子育て交流会
実施年月	令和3年7月1日
主催者のねらい	子育ての悩みやストレスを相談する相手がいない保護者に民生児童委員の活動を周知する
講師・関わる人の情報	アンサンブルひまわり、民生児童委員、地域講師
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員を知るきっかけとなったか ・外出するきっかけになったか ・親子で楽しい時間をすごせたか ・民生児童委員と交流することができたか
参加者数／定員数	46人/60人
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での交流会は限りがあったが民生の活動を知る良い機会となった。 ・子育て中の参加者は生の演奏を聴く機会がない時期のため楽しく過ごせたと好評だった。また民生を交えたグループトークでは育児の悩みを相談する参加者同士の姿がみられた。



3 市民活動の支援・コーディネート事例

旭交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	地域住民
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	<p>過疎地域の交通手段として不可欠な地域バスの認知度、利用率が低いため、「旭地域バスにのろまい推進協議会」と共催で事業を実施し利用促進を図った。</p>
結果	<p>予約バスの利用を体験してもらい、地域にある温泉施設(あさひ荘)へ行く講座を実施した。 地域課題に対して、市旭支所、旭地域バスにのろまい推進協議会、民間事業者と連携し、効果的な事業推進ができた。</p>



●朝日丘交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	童子山小学校(支援学級生徒)
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	支援学級生徒に朝日丘音頭の指導者を紹介して欲しいと学校から依頼があり、音頭の指導を実施した。
結果	自主グループ『健美会』講師都築氏による『朝日丘音頭』の指導実施と共に、学校イベントへの参加



旭交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	ブルーハワイアンズ&チェリーズ
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	やりがい・技術向上のため、演奏を披露する機会を増やしたいと相談があり、KITE-MITEいさと(ロビー等を活用した様々な催しが周知され、それに伴う利用者の増加を目的とした事業)ロビーコンサートを開催
結果	性別・年齢関係なく、幅広い層に楽しんでもらうことができ、館での催しや活動を知ってもらい良いきっかけになった。ハワイアン、フラダンス、ウクレレといったフレーズに興味なかった人も、「なんとなく足を止めて聴いてみたら、とても良い音楽で聴き入ってしまった」「バンド名をおしえてほしい」と、ねらい通り、ロビーという特性を生かす事ができたと感じた。 また参加者だけではなく、出演者の満足度が高かったことも、担当者の満足度の高さに繋がった。今回のコンサートはロビー活用として有意義であったと感じる。



●上郷交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	絵本クッキング
区分 (該当の選択肢に✓)	<input type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input checked="" type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	<p>読み聞かせの自主グループから絵本を用いて親子間のコミュニケーション活性化にお手伝いしたいとの申し出があり、当該グループと連携した交流館事業「絵本クッキング(親子で絵本に登場するお菓子作り)」を立案・実施した。</p>
結果	<p>当該自主グループの活躍機会を設けることができた。また、当該グループの持つノウハウを活用したことで事業自体の内容が充実し参加者の満足度向上につながった。</p>



●猿投北交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	ブリランテ コンサート
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	<p>地域でピアノ講師をしているママ友のグループから、交流館でコンサートを開きたいと相談があり、チラシ作製のアドバイス、講座のPR、ホームページや館報掲載などの支援をした。</p>
結果	<p>・「他の交流館でもコンサートをしたい。」と、意欲を見せており、活動の発展に向けて、自信につながったようであった。</p>



●浄水交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	地域活動団体
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input checked="" type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	<p>浄水北小学校に隣接する広大な里山を自然体験林として地域住民が憩える場として整備している「浄水里山づくりの会」がある。地域活動の活性化や新しい担い手を育成していきたい思いがあった。</p>
結果	<p>活動地域の魅力を活かし、里山や川での親子遊び、地域の歴史を学ぶ旧日本軍航空隊跡地見学などを交流館との共催事業として開催した。 地域へ会の活動のPRや地域の知られざる魅力を知ってもらう機会にもできるよう団体と相談しながら企画・実施し、世代を超えた交流の輪を広げる機会にもつながった。</p>



●末野原交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	豊野高等学校 生徒
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	高校生の自由な発想と地産地食を掲げる地元農業家「夢農人とよた」のコラボレーションを実現するために、高校生向けにレシピコンテストを実施した。交流館は「夢農人とよた」と共に「ゆたかの丼」を完成させ、最優秀作品をふれあいまつりで販売するために高校生スタッフの募集などをおこなった。
結果	ふれあいまつりで「夢農人とよた」と高校生スタッフが「ゆたかの丼」100食を販売した。その後は、メグリアムパーク店「丼や七五郎」で期間限定販売をおこなった。事業者である「夢農人とよた」と連携することで、末野原地区の農産物のPR及び高校生の地域での活躍を推進することができた。



ゆたかの丼レシピコンテスト応募用紙

名前 (個人名またはグループ代表者名) 性別 男・女 学年 / 年 / 組 電話番号
 〒117-0001 東京都荒川区西日暮里1-1-1 末野原交流館

★グループの選出は、代表者以外の方の同意、②性別、③学年・組、④電話番号を記入

メニューのタイトル
 ゆたかの丼

イラスト (簡単に手書きの図で)

使用する材料名
 白米、豚肉、キャベツ、人参、にんじん、しょうが、醤油、みそ、ごま油、ごま、かつお節、かつおぶし、かつおだし、かつお粉、かつお油、かつお粕、かつお節、かつおぶし、かつおだし、かつお粉、かつお油、かつお粕

作り方
 ①白米を炊き、ゆたかの丼に盛り付ける。
 ②ゆたかの丼にゆたかの丼を盛り付ける。
 ③ゆたかの丼にゆたかの丼を盛り付ける。
 ④ゆたかの丼にゆたかの丼を盛り付ける。
 ⑤ゆたかの丼にゆたかの丼を盛り付ける。

アピールポイント・工夫した点
 ゆたかの丼を盛り付ける。

★提出期限：9月3日(月) 担任の先生へ

●高橋交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	豊田北高等学校吹奏楽部
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	当館で練習していた高校生に声をかけ、コンサート(事業名:高橋ほっとサロン)を実施。日頃の成果発表の場の提供できた。
結果	コンサートのチラシからプログラム等を自分たちで考え、高校生らしい事業となった。地域の中高生をコアターゲットにし、中学校や北高にチラシ配布が功を奏し、中高生の来場者もみられた。アンケートでは「北高の吹奏楽部に入りたい」と中学生からの声もあり若い世代にも刺激を与えた。



●藤岡南交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	地域住民
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	手作りスピーカー展示を行っていた利用者より、他の利用者と音楽を楽しめる催しはできないかと相談があり、特定の日時で聴衆を集め、スピーカーの音を楽しむ音楽会をロビーで開催してはどうかと提案。
結果	選曲、進行などは相談者、チラシ作製、配布や周知活動は交流館と役割分担し、相談者の希望する場を提供。来場者からも好評を博し、相談者、交流館共に得るものがあった。



●前林交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	地域住民
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input checked="" type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	音楽を通して地域活性を図りたいという相談者に仲間を紹介し仲間づくりを支援。その後、実現に向け「前林やる気スイッチON！」講座を紹介。
結果	相談者は紹介した地域の音楽仲間と実行委員会を立ち上げ、交流館と共催し「クリスマスライブ」を開催した。子どもから大人までが演奏者として参加し多世代が交流する場を共に創ることができた。音楽を通して地域で集う場として今後も毎年開催予定。



●益富交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	自主グループ“宮前森林倶楽部”
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	<p>平成31年に交流館でチラシを作成し、募集をかけ、「講座をして、沢山の人に活動を知ってほしい」というグループの思いを形にして講座を実施した。その後、対象や内容を変えて、講座を令和3年まで実施した。</p>
結果	<p>現在は、活動も地域住民に周知され、チラシ作成、企画もグループで行い、受付のみ交流館が担当し、後援という形で支援している。</p>



H31 「バウムクーヘン講座」



R2 「大人のアウトドアクッキング」

●松平交流館【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	松平高校ライフコーディネート科3年生
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input checked="" type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	未就園児と保護者が対象の交流館事業「こどもひろばぽけっと『おねえさんといっしょ』」で、松平高校生が企画した運動遊びや工作を実施。高校生はライフコーディネート科の授業の一環として参加。
結果	・保護者から「高校生が一生懸命で、子どもに優しく接してくれて良かった」の声があり、高校生も「(読み聞かせボランティアの)他の講師の方の接し方や話し方がとても勉強になる」など、子どもとの関わり方を学ぶ場となった。



●若園交流館 【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	企業地元企業・幼稚園・子ども園 若園地区コミュニティ会議、自治区
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	「絵画でつなぐ地域の輪」 社会貢献活動に熱心な地元企業と幼稚園・子ども園をつなぎ、園児の絵画募集、優秀作品展示、またコミ会議とも連携し表彰式を開催
結果	・自治区回覧でPRし、ふれあいまつりでの表彰も定番となり、それを楽しみにしている方の増加 ・最近では企業が優秀作品を拡大パネルに加工し企業の擁壁に展示、年中鑑賞可能になり、住民にやすらぎを与えている。



●若園交流館 【市民活動の支援・コーディネート事例】

③ 支援・コーディネート事例

対象者	若林来るくるサロン
区分 (該当の選択肢に✓)	<input checked="" type="checkbox"/> ①活動支援・コーディネート <input checked="" type="checkbox"/> ②館事業巻き込み
支援の内容	<p>長年続いていたカフェボランティアから有志を募り、令和5年4月に「若林来るくるサロン」を発足。若林倶楽部開催時にホワイエでスティックコーヒーを提供。交流館のお手伝いをするグループから自主企画をした際に、出演者の交渉、事業PR、チラシ作り、リハーサルの立ち合いなどスタッフの気持ちに寄り添いながら、思いを形にできるよう尽力してきた。令和7年までに自立を目指す。</p>
結果	<p>講座のお手伝いとしてカフェボランティアをしていた時とは違い、自分たちの企画運営ができるようになった。コロナ禍をきっかけにコーヒーの提供が難しくなったが、セルフコーヒーに転換したことで交流の場が継続している。人と人をつなぎ、スタッフも参加者も笑顔あふれ、生き生きと活躍できる場になった。</p>

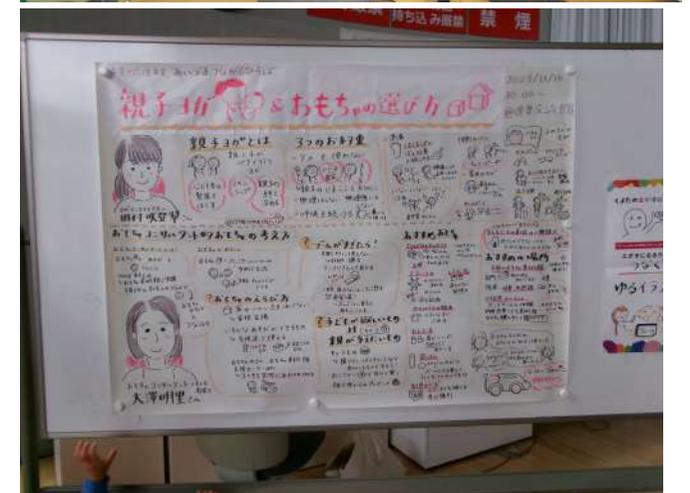


4 地域(運営委員会等)の声をきっかけに 発展した事例

●逢妻交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<p>運営委員からの「交流館は地域のママ友同士をつなぐ場所、一人で子育てをする人が多いため、子育て講座を行ってほしい」の声を元に地域の子育て支援グループと共催で子育て支援講座を開催。先輩ママとの座談会、防災、親子ヨガ、おもちゃの選び方、性教育をテーマに4回講座として実施。</p>
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<p>講師やかかわる人が参加者と同様に子育て中であり、参加者に寄り添ったプログラムや心配りが好評であった。グラフィックレコーディングを行い、内容を見える化した。6年度も継続事業として開催予定。</p>



●足助交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で足助住民の方が一同に集まれるような事は難しいという事から、お盆に帰省している方をターゲットに足助住民の写真を撮影してふれあいまつりで展示を開催・足助地内の写真店が交流館に仮設撮影所を設置。令和3・4年実施
効果 (利用状況、利用者の声)	<p>孫・ひ孫たちが集まり家族一同の集合写真や高齡の兄弟、夫婦等が撮影に参加され好評だった。</p> <p>5年度は資金がないため中止した。ふれあいまつりにみえた方などの問い合わせが多く寄せられた。</p>



●石野交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none">・中学校より夏休み期間の生徒の学習スペースについて相談があり、中学校と交流館は隣接していることから、生徒が立ち寄りやすい場所としてリニューアル・ロビーのソファを一部移動し、事務所から見える位置に学習用の机3本と椅子6脚を配置した。同様に図書コーナーの机も1本増設した。
効果 (利用状況、利用者の声)	当初は夏休み期間のみの予定であったがその後も利用があり、常設として運用している。落ち着いて学習するスペースと職員から見守りができる配置であるため学校からは今後も継続を希望されている。児童だけでなく平日日中には地域の方も活用されている姿が見られる。



●稲武交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえて運営に反映した事例

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none">・交流館の自主グループより、部屋の利用時間が3時間区分だったことに不便さを感じて、意見があったため、一般の来館者にも聞き込みをした。・結果、3時間区分から1時間区分に変更。
効果 (利用状況、利用者の声)	<ul style="list-style-type: none">・1時間単位の方が、使い勝手がよく、低料金で利用できると好評。・以前にもまして、利用の幅が広がり、利用者が増えた。



●梅坪台交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<p>①コンディション不良の指摘のあったピアノについて、ふれあいまつりで誰でも自由に弾けるコーナーを企画し、あわせて調律を行った。 ②利用に不安を感じる自主グループを対象にスマホでの予約システムの使い方の説明会を開いた。 ③地域団体による住民交流を目的としたフリマの開催を会議室内からロビーに拡大した。</p>
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・状態が改善し、大人から小中学生まで気軽にピアノに触れて楽しむ機会となった。 ・「自分でもできることがわかった」との声が聴かれた。 ・気軽に立ち寄れる雰囲気になり、出店者が増え、行事として定着し団体も意欲的に取り組んでいる。



●小原交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none">・当初、全室3時間単位での貸館であったが、H30より会議室・調理室のみ1時間貸し、その後の運営委員会での意見を反映し、H31よりホール・控室以外1時間貸し、H4よりすべての部屋を1時間貸しに変えた。
効果 (利用状況、利用者の声)	<ul style="list-style-type: none">・活動の実態に合った部屋利用ができ、利用者からも使いやすくなったと好評を得た。・営利利用であっても、1時間単位であれば短時間必要な分だけ取れるので、営利利用も増えてきた。・利用料の高いホールについても、1時間だけの練習利用等も入るようになり、利用拡大につながった。



●猿投台交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none">①利用者の要望があり、全室1時間貸しにした(H30～)②楽器の練習など全室音出し可能③全室飲食可能
効果 (利用状況、利用者の声)	<ul style="list-style-type: none">・必要な時間のみ利用のため、金額も安く済み、助かっている・音出し可、飲食可は使い勝手がよい



●下山交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<p>・中学校の校長先生より、昔は本が買えない時代はささゆりを取ってきて売ったお金で本を買っていた(「ささゆり文庫」と名づけられた)こともあるが、今ではささゆりが激減している。 子どもたちにささゆりの保護活動の大切さを伝えていきたい。とお話があった。 ・例年のささゆりの講座は中学生対象にボランティアを募集していたが、小学生にも募集を広げた。また、小学校1・2年生の総合学習の授業にも盛り込み、保護活動という観点で講座を行った。</p>
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<p>・「ささゆりのことをもっと知りたいと思った」「ささゆりの花は7～8年かけて咲くことを初めて知った」「観賞できて良かった」「ささゆりを大切に守っていきたい」などの声が多かった。ささゆりを身近に感じ、守り育てていく気持ちを養う一助となった。</p>



●崇化館交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

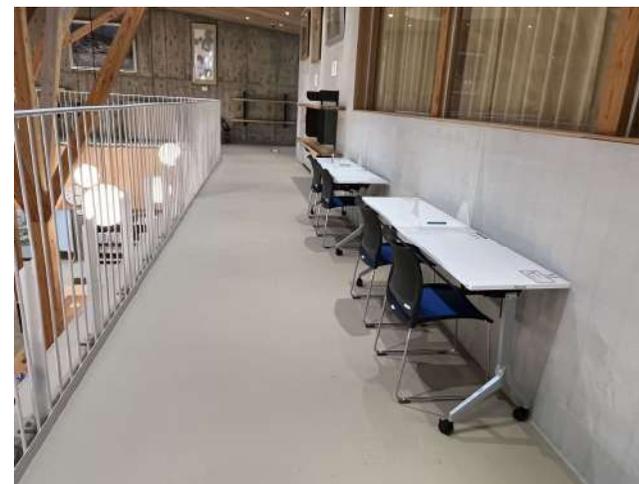
<p>ねらいと内容</p>	<p>①コロナ禍でリモート会議が増えたが、デジタル機器に対する知識が乏しく不安であるという意見がから「スマホよろず相談」事業を行い、デジタルディバイド解消に努める ②高齢化に伴い活動縮小傾向にある自主グループの活性化</p>
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<p>①参加予約数が毎回定員越えの人気講座となった。時間が15分/1人では短いとの声が上がったため、少人数のミニ講義も実施している。 家族に教えてもらおうとけんかになるが、杉浦先生は丁寧にわかりやすく教えてくれてうれしいとの声有。 ②やる気応援事業及びふれあいまつりの参加促進につながった</p>



●藤岡交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none">・学習開放に普段使っている部屋が選挙で利用できない期間があった。・せっかく勉強するつもりで子どもたちはきているから、どうにかならないか、との意見があった。・図書コーナーの配置を工夫したり、2階廊下に学習スペースを作った。
効果 (利用状況、利用者の声)	<ul style="list-style-type: none">・学習スペースとして、多くの中高生に利用してもらえるようになった。・一般の方にも気軽に過ごしてもらえるようになった。



●豊南交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<p>・中学生の時は「おたすけスタッフJr」としてボランティア活動をしているが、卒業後のボランティア活動の拠点が無いとの意見が出たため、拠点をつくった。</p>
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<p>・豊南地区コミュニティ会議の組織に「豊南おたすけボランティア」がある。その中に高校生を対象に「おたすけエース」として登録をもらい、活動の拠点をつくった。 ・イベント開催時の館内の飾付やイベントの内容を考え担当したり、活躍している。 ・今年度は自らの発案で、子どもたちの学習のお手伝いを考えている。</p>



●保見交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<p>・柔軟な利用時間に対応するため、部屋貸し時間を全て1時間単位に変更した。</p>
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<p>・利用者からは「無駄な時間を予約することなく(余分な費用負担もなく)利用しやすくなった」等好評の声を多数いただいている。</p>



●美里交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「交流館になじみのなかった人にも気軽に立ち寄ってもらい、いろいろな楽しい体験ができる」という意見があった。また、自主グループは会員の高齢化が進み、新たな会員を求めている。 ・自主グループ体験会(パソコン・空手・ダンスなど)、マルシェ、ロビーコンサートを同日開催。どなたでも気軽に参加し、楽しんでもらえる事を目的に行った。
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで年齢を問わず多くの参加があった。参加者からは「なかなかできないいろいろな体験ができて楽しかった」と好評だった。 ・当日参加した自主グループ全体では、6人の新規入会者があった。入会者がなかったグループも「活動を知ってもらう良い機会。楽しかった」と前向きな感想があり、参加者との交流を楽しむ姿が多く見られた。 ・マルシェ、ロビーコンサートも楽しむことができ、相乗効果が見られた。(参加者187人)



●竜神交流館【地域(運営委員会等)の声をきっかけに発展した事例】

① 運営委員会の意見をふまえ運営に反映した事例

<p>ねらいと内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーでの無人物販の対象について、運営委員会で、意見聴取を行い、協議を行った。 ・結果、「福祉団体、地域活動団体、専ら営利を目的としていない団体」を対象とし運用している。
<p>効果 (利用状況、利用者の声)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田高等特別支援学校、ミライシニア、オフィスきらりに加え、わくわく事業団体「野菜ひろば竹下」による不定期の野菜販売が行われるようになった。 ・豊田高等特別支援学校と野菜ひろば竹下の野菜販売が重なることがあるが、利用者には喜ばれており特に不都合はない。 ・販売以外にも苗やメダカのお裾分けなどがあり、来館者の楽しみとなっている。 ・「もらったメダカが増えたよ」「トマトが収穫できたら持ってくるね！」等の声が聞かれ、利用者の交流に役立っている。

